

## 社会貢献活動・環境保全活動

身近なところから一歩ずつ。私たちは、さまざまな分野で社会貢献活動・環境保全活動に取り組んでいます。2006年度に行った活動の一部をご紹介します。

### ■ 棚田の保存に協力

農林水産省指定「日本の棚田百選」に選ばれた千葉県鴨川市の大山千枚田は、東京から一番近い千枚田です。手軽に農業体験ができ、何度も訪れることができる棚田ということで、脚光を浴びつつあります。

当社では、棚田オーナー制度の導入や、社員による農作業支援などにより、大山千枚田の保存に協力しています。



大山千枚田、田植え風景



同、草刈り風景

### ■ 「レイクパピルス20」の販売を開始

琵琶湖の葦を利用した「レイクパピルス20」の販売を開始しました。

日本全国にある湖沼や河川に群生する葦は、水の汚れの原因となるリンや窒素の吸収率が高く、建材や葦簀(よしず)として利用されてきました。葦は1本で2トンの水を浄化する能力があると言われていたのですが、近年では生活環境の変化などにより、有効活用が進んでいませんでした。



琵琶湖に生える葦

「レイクパピルス20」は葦の含有率が20%で、名刺1枚で約20リットルの水を浄化することになります。白色度は約80%で、名刺や社用封筒など企業のオフィス用紙製品の原紙として提供します。

当社の社用名刺については、順次全社員の名刺を「レイクパピルス20」に切り替えています。

## ■「クールビズ」運動を全事業所で実施

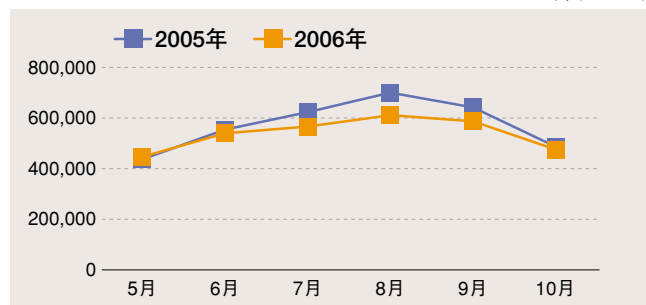
「チーム・マイナス6%」に参加している当社では、地球温暖化防止への取り組みの一環として、2005年の夏に西日本地区の事業所で試行した「クールビズ」運動を、2006年には全事業所に拡大しました。6月19日（夏至）から9月22日（秋分）までの約3ヶ月間、上着やネクタイの着用を原則不要とし、オフィスの冷房温度を28度に設定しました。

これにより、本社ビルでは、7～8月の電気使用量を、約1割削減することができました。



本社ビル電気使用量推移

(単位:kWh)



## ■大塚商会 CSRレポート2006

従来の「社会・環境報告書」の内容を拡充し、「CSRレポート2006」を発行しました。社会貢献・環境保全活動の他、ステークホルダー（利害関係者）である、お客様、株主・投資家の皆様、お取引先、地域社会、従業員との関係について、広く皆様に報告しています。「CSRレポート2006」の作成にあたっては、紙資源の使用節減のため印刷をせず、当社ホームページ上でのみ掲載しています。



<http://www.otsuka-shokai.co.jp/eco/2006/index.html>

## 環境ソリューション

当社が取り組んできた、さまざまな環境改善活動における社内利用の実績やノウハウをもとに多彩な環境ソリューションを開発し、お客様へ提案しております。

- 「ODS21」によるペーパーレスシステムで紙使用量の節減に寄与
- 「たのめる」でグリーン購買推進に貢献

- 「Webラーニング」でECO教育の効率化を支援
- 「PCリサイクル」「リサイクルトナー」の推進で資源節減に寄与